

エコアクション21

2023年度 環境経営レポート

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日

発行日：2024年6月27日



共同技研株式会社

環境経営方針

■ 環境配慮に対する考え方

共同技研株式会社は、「資源循環を創造し、豊かで持続可能な世界を実現する」をミッションとし、様々な事業を通じて循環型社会の実現に貢献してまいります。

事業活動に伴う環境負荷を低減することは、企業の重要な社会的責任のひとつであり、社員ひとりひとりが日常的に取り組むべきものと考えています。

■ 基本方針

以下の基本方針のもと環境マネジメントシステムを構築し、継続的に運用していくことで着実な環境負荷低減を実施してまいります。

1. 重点項目の設定

環境負荷低減に関する取り組みにおいては、効率性を重視した取り組みを行います。環境負荷の大きいものを重点項目として設定し、優先順位をつけて活動を行うことで取り組み効果を最大化します。また、定期的な見直しを実施します。

具体的には次の項目を重点項目とし、優先的に取り組んでまいります。

①二酸化炭素の排出量削減 ②廃棄物の排出量削減 ③水使用量の削減 ④産業廃棄物収集運搬における環境配慮（騒音・悪臭など）

2. 経営改善と環境負荷低減の両立

長期的かつ着実に環境負荷低減の取り組みを進めていくためには、その取り組みが一方的に経営の負担となるのではなく、環境負荷の低減と経営改善に同時に寄与していくものでなければなりません。このため、取り組み内容は中期的な経営課題と市場チャンスを踏まえたものを設定します。

3. 環境関連法規の遵守

環境関連法規を遵守します。社内での管理体制を構築し、当社事業に関わる環境関連法規および環境負荷に関する法令を明確にします。また、定期的に遵守状況についてチェックを実施します。

4. 事業活動を通じた環境負荷の低減

当社の事業活動を通じて、産業廃棄物排出事業者様をサポートし、適正で環境負荷の少ない産業廃棄物処理を普及してまいります。

5. 取り組み状況の公開

環境マネジメントシステムの運用結果は、環境経営レポートによって定期的に公表します。取り組み状況を公開することで、透明性を持った取り組みを進めてまいります。

2012年6月8日制定

2024年4月1日改訂

共同技研株式会社

代表取締役社長 酒木 悠次

1. 組織の概要

(1) 事業者名および代表者名

共同技研株式会社
代表取締役社長 酒木 悠次

(2) 所在地

本社：広島県呉市本通四丁目8番28号
下松営業所：山口県下松市潮音町8丁目2番27号
平生太陽光発電所：山口県熊毛郡平生町大字大野北字中屋952-7



(3) 法人設立日

2000年5月19日

(4) 資本金

1,000万円

(5) 環境管理責任者および担当者並びに連絡先

環境管理責任者 木村 原理
Phone 0823-32-2711
E-mail g-kimura@kyodogiken.com

(6) 事業内容

産業廃棄物収集運搬業、太陽光発電事業、一般貨物自動車運送事業

(7) 事業規模

	2021年度	2022年度	2023年度
売上高 (千円)	228,938	247,711	245,311
従業員数 (人)	11	10	11
収集運搬車両台数 (台)	10	10	10

(8) 事業年度

4月1日～3月31日
(※今回の環境経営レポートは2023年4月1日～2024年3月31日)

2. 事業の概要

(1) 産業廃棄物収集運搬の全体計画

排出事業者様の事業場より排出される産業廃棄物を収集し、様々な処分場へ運搬いたします。

産業廃棄物の運搬にあたっては、事前に排出事業者様との委託契約の締結が必要になります。この際、許可品目以外の産業廃棄物についてはご契約頂けません。

産業廃棄物の引き渡しをお受けする際には、紙マニフェストもしくは電子マニフェストの受渡確認票により、産業廃棄物の種類、数量等を確認させていただきます。また、マニフェスト類は運搬先に回付いたします。

排出先事業者様には、適正で安定的な処理をご継続頂き、さらにリサイクル率の向上をお手伝いできるよう、様々なご提案を行っております。

(2) 休業日および業務時間

[休業日] 土曜日、日曜日、祝祭日、その他会社の定める休日（年末年始、お盆）

[業務時間] 1日あたり9時間（うち休憩1時間）

(3) 許可の内容（取扱廃棄物などの詳細は次頁に記載）

[産業廃棄物収集運搬業許可]

許可自治体	許可番号	許可年月日	許可の有効期限
岐阜県	第02100076667号	2019年10月07日	2024年10月06日
愛知県	第02300076667号	2021年06月04日	2026年06月03日
三重県	第02400076667号	2019年09月25日	2024年09月24日
滋賀県	第02501076667号	2023年08月29日	2028年08月28日
兵庫県	第02806076667号	2022年01月13日	2029年01月12日
島根県	第03200076667号	2023年06月06日	2030年06月05日
岡山県	第03301076667号	2020年10月02日	2027年08月27日
広島県	第03400076667号	2018年01月28日	2025年01月27日
山口県	第03500076667号	2022年03月24日	2029年03月23日
香川県	第03709076667号	2021年01月14日	2026年01月13日
愛媛県	第03807076667号	2020年11月05日	2025年11月04日
福岡県	第04000076667号	2023年09月07日	2030年09月06日

[特別管理産業廃棄物収集運搬業許可]

許可自治体	許可番号	許可年月日	許可の有効期限
島根県	第03250076667号	2022年01月06日	2029年01月05日
広島県	第03450076667号	2022年02月07日	2029年02月06日
山口県	第03550076667号	2022年01月05日	2029年01月04日

[一般貨物自動車運送業]

中国貨物 第229号

産業廃棄物収集運搬業許可

許可自治体	積替保管の有無	優良認定	取扱廃棄物の種類																					
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	動植物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス・セラミックス類	鉱さい	がれき類	動物の糞尿	動物の死体	ばいじん	産業廃棄物処理物	輸入された廃棄物	
岐阜県 第02100076667号	無		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●		
愛知県 第02300076667号	無		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●		
三重県 第02400076667号	無		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●		
滋賀県 第02501076667号	無		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	
兵庫県 第02806076667号	無	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●		
島根県 第03200076667号	無	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●		
岡山県 第03301076667号	無	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●		
広島県 第03400076667号	無	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●		
山口県 第03500076667号	無	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●		
香川県 第03709076667号	無		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●		
愛媛県 第03807076667号	無		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●		
福岡県 第04000076667号	無	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●		

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可

許可自治体	積替保管の有無	優良認定	取扱廃棄物の種類																	
			特定有害産業廃棄物										PCB汚染物	PCB処理物	廃水銀等	廃石棉等				
			廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃油	廃酸	廃アルカリ	汚泥	鉱さい	燃え殻					ばいじん			
島根県 第03250076667号	無	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●
広島県 第03450076667号	無	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●
山口県 第03550076667号	無	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●

3. 施設および処理の概要

(1) 運搬車両の種類・能力 (2024年3月31日時点)

	車両型式	最大積載量 (kg)	仕様等
1	セミトレーラーダンプ車	21,000	水密仕様・土砂等積載禁止
2	セミトレーラーダンプ車	20,600	水密仕様・土砂等積載禁止
3	ダンプ車	10,800	水密仕様・土砂等積載禁止
4	ダンプ車	10,600	水密仕様・土砂等積載禁止
5	ダンプ車	10,500	水密仕様・土砂等積載禁止
6	ダンプ車	10,300	水密仕様・土砂等積載禁止
7	ダンプ車	11,000	
8	ダンプ車	10,900	
9	ダンプ車	9,200	
10	アームロール車	4,000	



20トン積 セミトレーラーダンプ車



10トン積 深ボディダンプ車



10トン積 土砂ダンプ車

(2) 処理実績 (収集運搬量)

品目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
鉱さい	t	14,747.64	13,295.99	13,921.67	14,332.09	13,565.66
汚泥	t	13,061.19	11,098.60	11,396.99	13,745.07	13,954.32
燃え殻	t	1,837.58	2,118.21	1,581.69	1,873.18	2,393.01
ばいじん	t	36.24	635.32	2,123.79	2,341.40	2,542.41
がれき類	t	-	3.00	521.42	397.52	114.90
ガラスくず等	t	100.18	124.43	208.73	390.00	328.03
繊維くず	t	33.85	13.22	10.23	31.74	0.00
管理型混合廃棄物	t	75.80	263.10	744.49	798.79	758.31
廃油	t	-	0.05	-	-	-
鉱さい (特管)	t	-	-	5.84	-	-
合計	t	29,892.48	27,551.92	30,514.85	33,909.79	33,656.64

4. 認証・登録の対象範囲

(1) 対象事業者

共同技研株式会社

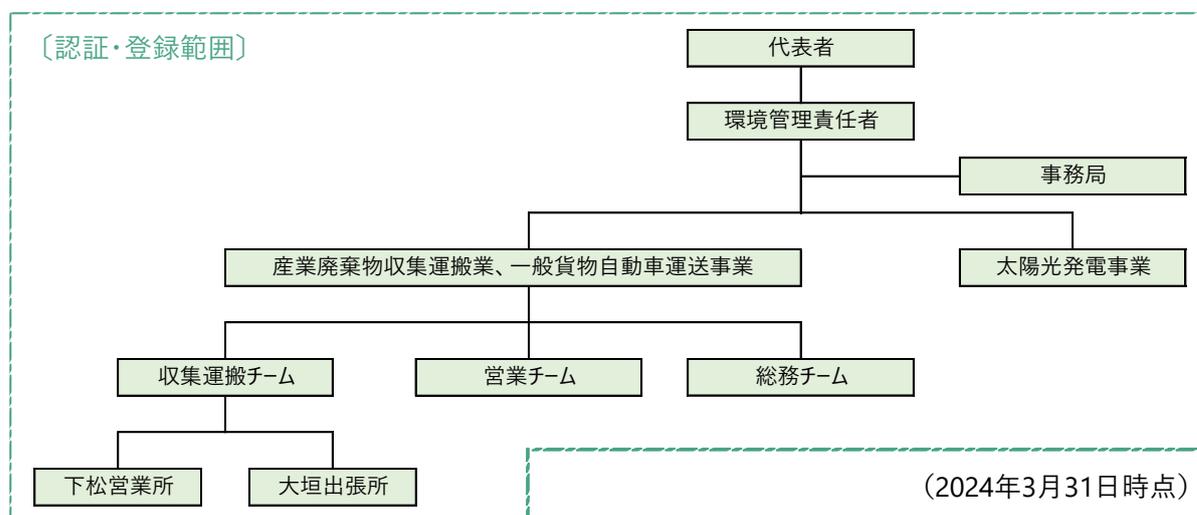
(2) 対象事業所

本社、下松営業所、平生太陽光発電所

(3) 対象活動

産業廃棄物収集運搬業、太陽光発電事業、一般貨物自動車運送事業

(4) 組織図および認証・登録範囲



注、「大垣出張所」は「対象事業所」ではなく、「借用している駐車場で活動拠点」の扱いである。

(5) 役割分担

所属	役割・責任・権限・使命
代表者	全体の統括、環境経営方針の設定、全体の評価と見直し・指示 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	全体の把握／環境経営システムを構築、運用し、その状況を代表者に報告 6ヶ月ごとに環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を審議
事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
営業チーム	車燃料（ガソリン）消費量管理、苦情等の対応
総務チーム	環境ラベル製品の購入管理 本社事務所における電力、水消費量、発生廃棄物量、リサイクル率の集計管理
収集運搬チーム	車燃料（軽油）消費量管理 下松営業所における電力、水消費量、発生廃棄物量、リサイクル率の集計管理

5. 環境経営目標と実績

(1) 当期間の環境経営目標と実績、および中期環境経営目標

取組目標	基準実績 (基準年度)	環境経営目標			今年度実績		
		2023年度	2024年度	2025年度	実績	達成率	判定
1. 二酸化炭素排出量の削減							
ガソリン使用量の削減 (L)	2,849 (2015年度)	2,678.06 (△6.0%)	2,649.57 (△7.0%)	2,621.08 (△8.0%)	2,057.35	130%	○
電力使用量の削減 (KWh)	7,413 (2020年度)	7,413	7,413	7,413	7,192	103%	○
トラックの燃費向上 (km/L)	3.30 (2022年度)	3.32 (△0.5%)	3.33 (△1.0%)	3.35 (△1.5%)	3.24	98%	×
2. 自社発生廃棄物の削減							
自社発生廃棄物の削減 (kg)	223.15 (2022年度)	220.92 (△1.0%)	218.69 (△2.0%)	216.46 (△3.0%)	183.14	120.6%	○
3. 水使用量の削減							
使用水量の削減 (本社) (m ³)	30 (2022年度)	29.70 (△1.0%)	29.40 (△2.0%)	29.10 (△3.0%)	27	110%	○
稼働車両台数あたりの使用水量の削減 (下松営業所) (m ³ /台)	0.176 (2022年度)	0.172 (△2.0%)	0.171 (△3.0%)	0.169 (△4.0%)	0.148	116%	○
4. 受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮							
顧客からの苦情ゼロ (件)	0 (2015年度)	0.00	0.00	0.00	0	100%	○

注1. トラックの燃費向上の今年度実績値 $3.24\text{km/L} = 482,747\text{km} \div 148,781.28\text{L}$

注2. 稼働車両台数あたりの使用水量の削減 (下松営業所) の今年度実績値 $0.148\text{m}^3/\text{台} = 225\text{m}^3 \div 1,518\text{台}$

注3. 2023年度二酸化炭素排出総量 (= 購入電力 + ガソリン + 軽油) は $392,376\text{kg-CO}_2$

(2) 過去3年間の実績

取組目標	実績		
	2020年度	2021年度	2022年度
1. 二酸化炭素排出量の削減			
ガソリン使用量の削減 (L)	2,353.22	2,209.46	2,169.23
電力使用量の削減 (KWh)	7,413	7,043	7,335
トラックの燃費向上 (km/L)	3.28	3.36	3.30
2. 自社発生廃棄物の削減			
自社発生廃棄物の削減 (kg)	226.73	252.93	223.15
3. 水使用量の削減			
使用水量の削減 (本社) (m ³)	29	27	30
稼働車両台数あたりの使用水量の削減 (下松営業所) (m ³ /台)	-	0.176	0.171
4. 受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮			
顧客からの苦情ゼロ (件)	0.00	0.00	0.00

※電力の二酸化炭素排出係数は2020年度の電気事業者別排出係数 (中国電力) $0.521\text{kg-CO}_2/\text{KWh}$ を使用

※電力使用量の削減については維持管理項目とする

※化学物質は取り扱い無し

6. 当期間の環境経営計画と結果および評価

(1) ガソリン使用量の削減

環境経営計画		責任者
1	ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車、電気自動車、天然ガス自動車等の低公害車への切り替えを進める	木村
2	急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止等エコドライブを励行する	木村

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

対目標130%と目標を達成することができました。社用車を運転する際は、発進時に急加速をせずゆっくりとエンジン回転数を上げることを特に意識して運転しています。次年度も引き続き取り組みを継続して参ります。

〔営業チーム 木村〕



(2) 軽油使用量の削減（トラックの燃費向上）

環境経営計画		責任者
1	デジタル式運行記録計、ドライブレコーダー等エコドライブ関連機器を導入する	濱
2	急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止等、エコドライブを励行する	濱
3	作業時間や待機時間、走行距離の短縮化を図る	濱

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

昨年同様、基準年度と比べてトレーラーの稼働割合が増加していること、帰り便が増加していることから、対目標は98%と未達成となりましたが、2023年1月に平成10年代後期の古い大型車両の入れ替えも完了し、燃費基準達成車の全体割合は大きく向上しています。次年度も引き続きドライバーへのエコドライブ教育を継続し、全員で目標を達成できるようエコドライブへの意識を高めたいと思います。

〔収集運搬チーム 濱〕



車両整備の専門家をお招きして、日常点検や整備を行う際のポイントを教えていただきました。

(3) 電力使用量の削減

環境経営計画		責任者
1	複層ガラス、二重サッシ等を採用し、建物の断熱性能を向上させる	滑／濱
2	熱線吸収ガラス、熱線反射ガラスを採用し、日射を遮断する	滑／濱
3	太陽光発電設備を導入し、太陽エネルギーを電気として利用する	滑／濱
4	太陽熱温水器等を導入し、加熱した水を暖房や給湯に利用する	滑／濱
5	冷暖房終了時間前に熱源機を停止し、装置内の熱を有効利用する	滑／濱
6	コピー機、パソコン、プリンター等のOA機器については、エネルギー効率の高い機器を導入する	滑／濱

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

対目標103%と目標を達成しました。昨年同様にエアコンの温度設定をこまめに調整したことや、加湿器を活用したことが目標の達成につながったと思います。

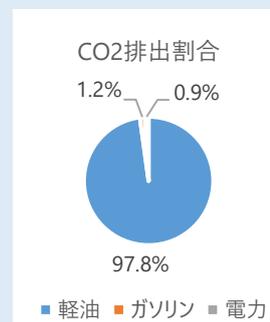
2024年の夏は既に猛暑になることが予想されているので、夏の室温上昇を防ぐ方法が何かないか、検討したいと思います。

〔総務チーム 滑／収集運搬チーム 濱〕



定期的エアコンの点検・清掃を業者に依頼し、エアコンの効率的な運転を促しています。

■ 二酸化炭素排出量の削減まとめ



当社のCO2排出量のうち、9割以上（98%）が軽油使用に由来している状況はこれまでと変わりありません。今期の軽油使用によるCO2排出量は、384（t-CO2）と昨年を下回ることができました。引き続き低燃費車両への入れ替えや、大型トレーラー車両の稼働割合の増加、帰便の受注増加、エコドライブ推進活動を進めることで、収集運搬業務における軽油使用の効率化に取り組んでまいります。

〔環境管理責任者 木村〕

(4) 自社発生廃棄物の削減

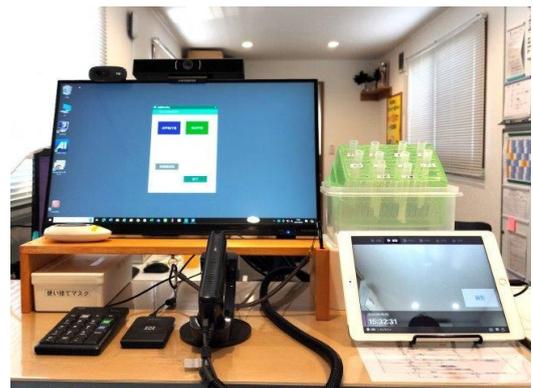
環境経営計画		責任者
1	リターナブル容器に入った製品を優先的に購入し、使用する	滑／濱
2	再使用またはリサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用する	滑／濱
3	紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底する	滑／濱

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

対目標120.6%と目標を達成することができました。今年度よりペーパーレス化に取り組んでおり、主に請求書や勤怠管理、給料明細、会議の資料などで活用しています。

これにより、紙代、インク代、郵送料などのコストを削減し、廃棄物も抑えることができました。業務も効率化できるため、他にもペーパーレス化できるものがないか検討を進め、引き続き取り組んでまいります。

〔総務チーム 滑／収集運搬チーム 濱〕



勤怠管理システムの導入により、様々なコストを削減することができました。

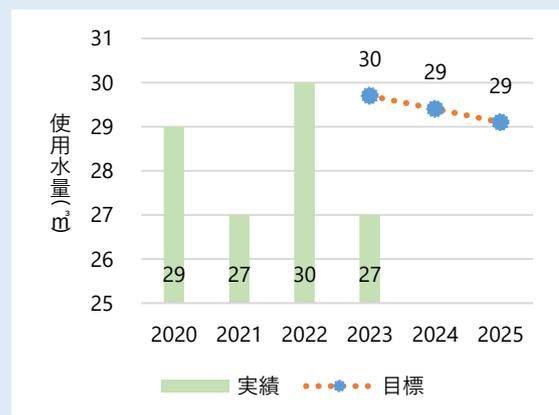
(5) 使用水量の削減（本社）

環境経営計画		責任者
1	社用車の洗車を最低限に留め、洗車時は節水を励行する	滑
2	水道配管からの漏水を定期的に点検している	滑
3	手洗い時、洗物においては、日常的に節水を励行している	滑

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

対目標110%と目標を達成することができました。社員全員が日々の節水を心がけているからだと思います。元々使用水量の少ない本社事務所では、節水のための対策・活動は十分にできていると感じていますが、さらに使用量が減らせるように社内で意見交換を行いながら取り組みを継続して参ります。

〔総務チーム 滑〕



(6) 稼働車両台数あたりの使用水量の削減（下松営業所）

環境経営計画		責任者
1	雨水の貯留タンクや雨水利用施設の設置等により、雨水利用を行っている	濱
2	洗車時には節水効果の高い高圧洗浄機を使用する	濱
3	節水を意識した洗車の実施	濱

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

対目標116%と目標を達成することができました。取組内容として、高圧洗浄機の追加導入、給水タンクへの止水フロートの取付を実施しました。特に止水フロートの取付は、給水タンクから溢れる水を防ぐという節水の面だけでなく、溢水を気にせずに洗車作業に集中できるという作業効率の面でも非常に効果的でした。引き続き、洗車時は節水効果の高い高圧洗浄機を使用するなど、一人一人が節水を意識して取り組んで参ります。

〔収集運搬チーム 濱〕



高圧洗浄機の追加導入、給水タンクへの止水フロートの取り付けを行いました。

(7) 顧客からの苦情ゼロ

環境経営計画		責任者
1	最新の排ガス規制や騒音規制に適合した車両への代替を進める	木村
2	外部からの情報提供、公表依頼に対する窓口を設ける	木村
3	意見聴取を定期的に行い、環境への取組の際、考慮する	木村

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

苦情なく目標を達成することが出来ました。近年、被害が増加しているサイバー攻撃への対策として、複数のセキュリティ機能を一元化して、管理効率を高められるUTM機器を導入しました。引き続き顧客から信頼を得るための取り組みを継続し、次年度も苦情0件を達成できるよう取り組んでまいります。

〔営業チーム 木村〕



サイバー攻撃やウイルスの侵入・拡散などの情報セキュリティ対策として、UTM機器を導入しました。

7. 翌期の環境経営目標および環境経営計画

(1) 翌期の環境経営目標、および中期環境経営目標

取組目標	基準実績 (基準年度)	環境経営目標		
		2024年度	2025年度	2026年度
1. 二酸化炭素排出量の削減				
ガソリン使用量の削減 (L)	2,849 (2015年度)	2,649.57 (△7.0%)	2,621.08 (△8.0%)	2,592.59 (△9.0%)
電力使用量の削減 (kWh)	7,413 (2020年度)	7,413	7,413	7,413
トラックの燃費向上 (km/L)	3.24 (2023年度)	3.26 (△0.5%)	3.28 (△1.0%)	3.29 (△1.5%)
2. 自社発生廃棄物の削減				
自社発生廃棄物の削減 (kg)	226,731 (2020年度)	224.46 (△1.0%)	222.20 (△2.0%)	219.93 (△3.0%)
3. 水使用量の削減				
使用水量の削減 (本社) (m ³)	30 (2022年度)	29.70 (△1.0%)	29.40 (△2.0%)	29.10 (△3.0%)
稼働車両台数あたりの使用水量の削減 (下松営業所) (m ³ /台)	0.176 (2022年度)	0.171 (△3.0%)	0.169 (△4.0%)	0.167 (△5.0%)
4. 受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮				
顧客からの苦情ゼロ (件)	0 (2015年度)	0.00	0.00	0.00

(2) 翌期の環境経営計画

P8～P11の次年度の取組内容のとおり

8. 太陽光発電設備の概要

当社では、2018年7月より発電出力49.5kWの太陽光発電システムを導入しております。
今後も再生利用エネルギーの活用を推進して参ります。



所在地	山口県熊毛郡平生町
発電出力	49.5kW

9. 環境関連法規の遵守状況、および訴訟の有無

弊社の事業活動において、主な対象となる法律は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」、「フロン排出抑制法」及び「道路3法」があります。

廃棄物処理法をはじめ、環境関連法規の遵守状況をチェックした結果、違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去にありません。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

物価上昇が継続し、事業環境の厳しさが増した一年でした。当社では、原材料の使用量削減や使用効率の向上を推進しました。

止水フロートの取り付けによる水使用量の削減や、決済業務のペーパーレス化など、社員の発案による改善・工夫がなされ、環境負荷軽減とコスト削減に貢献しています。

現時点においても、最大の課題である「大型トラックによるCO2排出量」に対して、エコタイヤへの切り替えによる燃費改善効果の検証が進められています。

小さな改善ではありますが、一つ一つの積み重ねが大きな差につながると考え、取り組みを継続して参りたいと思います。

「資源循環の創造により、豊かで持続可能な世界を実現する」という企業ミッションのもと、引き続き、事業活動を通じた循環型社会の実現に貢献して参ります。

代表取締役社長 酒木 悠次

共同技研株式会社

〒737-0045 広島県呉市本通4丁目8番28号

Phone 0823-32-2711

Fax 0823-32-2712

<https://kyodogiken.com/>

